

高松市の 上下水道知って



9月10日は「下水道の日」です。

1961年、著しく遅れていたわが国の下水道の普及と当時の全国普及率6%を因るため、大雨に備えるという意味も込めて、台風シーズンであるこの時期を選び、運動が始まりました。

それから50年、現在では全国普及率73.7%・高松市では59.1%（平成21年度末）まで普及し、必要不可欠な生活基盤となっています。

この機会に、下水道について詳しく知りましょう。

今回のテーマ 下水道 Q&A

普段は見ることできかない施設ですが、実は、縁の下の力持ちなんです。下水道の役割について、考えてみましょう。

Q 下水道ってなに？

A 下水道の主な役割は、家庭や工場



キュー

などから出た汚水を下水処理場に集めてきれいにすること、台風や大雨のときに雨水で街が浸水するのを防ぐことです。

下水道があることで、私たちは快適で衛生的な生活を送ることができています。



Q 浸水対策って主にどんなことをしているの？

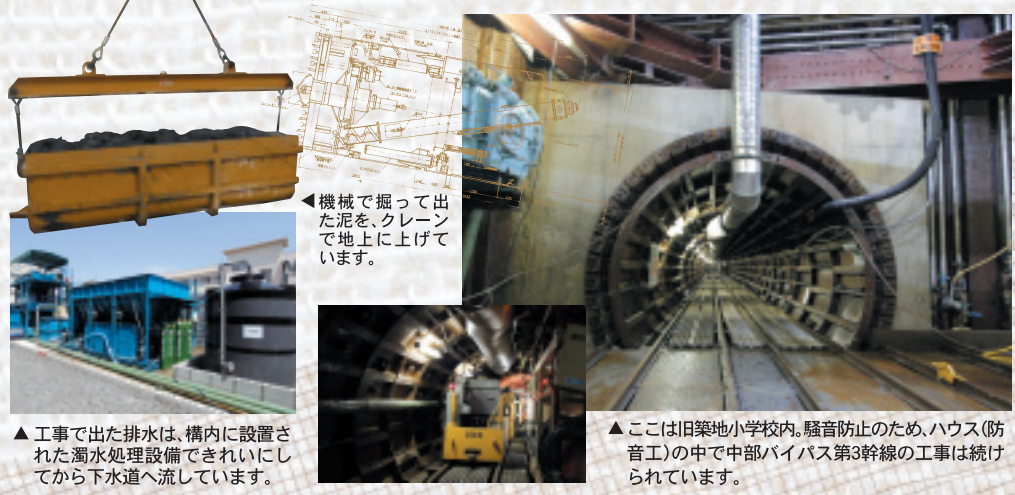
A 上下水道局では、安全で安心な街をつくるため、下水道の整備区域内で浸水被害を受けている地域に、雨水を速やかに排水するポンプ場や雨水管渠の整備を行っています。

特に、中心市街地全体については、平成16年の浸水被害を受けて、浸水対策計画を策定しました。現在、中部バイパス第2幹線や第3幹線、福岡ポンプ場の整備を行っています。

ひょうふつと

豆知識
マンホール
【man-hole】人工的な穴

マンホールの蓋が丸いのは、なぜでしょう？それは、四角だと角度によっては内部に落ちてしまうためです。また、点検の際に作業員が入りやすいことも理由です。高松市の下水のマンホールの蓋にはあの有名な「屋島の戦い」が描かれています。



▲機械で掘って出た泥を、クレーンで地上に上げています。

▲ここは旧築地小学校内。騒音防止のため、ハウス(防音工)の中で中部バイパス第3幹線の工事は続けられています。

▲工事で出た排水は、構内に設置された濁水処理設備できれいにしてから下水道へ流しています。

水道水と旬の食材で作る「なすそうめん」 4人分

- 材料**
- なす.....中2個
 - そうめん.....1束(100g)
 - 砂糖.....30g
 - 薄口しょうゆ.....50cc
 - いりこだし汁.....700cc
 - 刻み唐辛子.....一つまみ



- 作り方**
- ①なすは縦6等分に切り、斜めに切り目を入れて水につけておきます。
 - ②厚手の鍋に油を入れ、水気を切ったなすを軽く炒め、だし汁、薄口しょうゆ、砂糖、刻み唐辛子を加えます。
 - ③なすが煮えてきたらそうめんを加え、そうめんが火が通ったらできあがり。

好みで、唐辛子をしょうゆ汁にかえてもさっぱりとした味わいになります。さらに、油揚げと一緒に煮込んだり、ねぎやごまなどをトッピングしたりしてもいいですね。

Q 下水道に流してはいけないものってなに？

A 台所では：野菜くずやご飯の残り、油などの食用廃油など
水洗トイレでは：トイレットペーパー以外のもの
道路の端の雨水ますには：土砂や木片、ゴミなど
下水道は万能ではありません。小さなことでも私たちができることから取り組みましょう。